



問 津市子ども計画（案）について問う

今回の計画案は、これまでの子どもや若者に関わる計画を一つにし、「子どもまんなか社会」をどうつくり、何をしていくのかを示した計画である。従来の計画は子どものために、「いろいろな事業を考えてあげる」色合いが強かったが、この計画案は「人格・個性や権利を尊重し、最善の利益の実現をめざす」とされている。そこで、この計画案に込められた思いや進め方を市長に問う。

答 安心して子どもを育てることができるところ

津市子ども計画（案）を実際に形として事業化していくのは私たち大人であるが、子どもたちと一緒につくっていく子ども政策にしたいと考えており、それに当たって子どもの視点で直接声を聞けるよう、新たに設置する「（仮称）津市子どもまんなか社会実現会議」においては、大人だけの議論とせず、子どもたちにも中に入ってもらう、できる限り柔軟に、従来の審議会のような形式的なものではなく、フランクな形で進めていきたいと考えている。安心して子どもを育てることができるところと評価されるよう、今後検討しながら取り組んでいきたいと考えている。

その他の質疑・質問

- こども誰でも通園制度について
- 保育を支える人材の確保について
- 不登校児童生徒への支援について
- 女性消防団員の活躍推進について
- 高齢者の情報格差について

女性消防団員の活躍推進に関する意見交換会



問 聴覚障がい者の緊急通報について問う

聴覚障がい者の緊急通報について、手話も活用できる「日本財団電話リレーサービス」が最適なシステムだと思うが、当該サービスは社会に広く知られているとまでは言えず、啓発を定期的に広報していく必要があると考えるが、どうか。また、当該サービスは、聴覚障がい者の日常生活に大きく寄与することもあり、他の自治体並みに利用料やスマートフォン端末購入への助成を求める。

答 電話リレーサービスの内容や利用方法の周知を図っていく

電話リレーサービスは、聴覚や発話に困難のある人とそれ以外の人との会話を、通訳オペレーターが手話、または文字と音声を通訳することにより、電話で即時、双方向につなげることができるサービスであり、利用にはスマートフォンやタブレットに無料アプリをダウンロードする必要がある。当該サービスの利用がスムーズにできるよう、サービス内容や利用方法について市ホームページ等で周知を図っていく。また、通話料やスマートフォン端末の購入費用の助成については、現在のところ、県内の自治体において事例がないため、県外の自治体の事例を調査研究していく。

その他の質疑・質問

- 財政・予算について
 - 避難所の空調に係る予算の意思決定基準は
 - 「年収の壁」引き上げによる市政への影響は
- 一志地域の道路について
 - 初瀬街道七曲りのスピードの出し過ぎへの対応は
- 水道事業について など

日本財団電話リレーサービス

